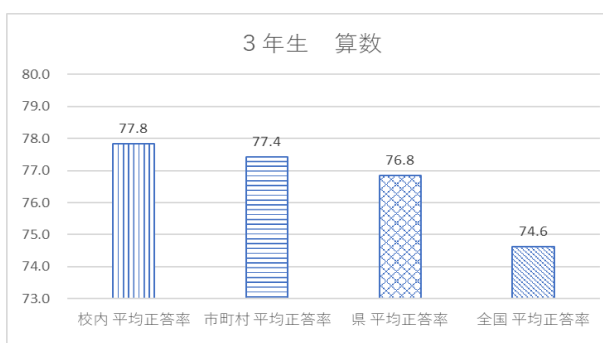
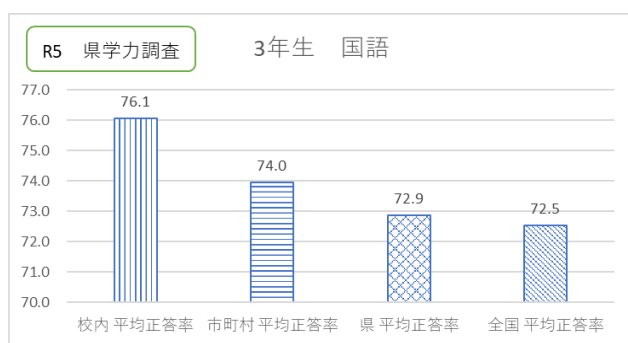


令和5年度岡山県学力調査（3年生～5年生）の結果のお知らせ

今年度4月末に行われた「岡山県学力調査」の結果が公表されました。今回の学力調査結果をもとに、本校では児童の課題を把握し、これからの学習指導及び生活指導に生かすなど、有効に活用していきたいと考えています。3年生～5年生の結果概要及び全体の傾向は次の通りです。

3年生

	校内 平均正答率	市町村 平均正答率	県 平均正答率	全国 平均正答率
国語	76.1	74.0	72.9	72.5
算数	77.8	77.4	76.8	74.6



国語科は全国平均、県平均、倉敷市平均を2～3.5割上回りました。算数科も岡山県、倉敷市平均と比べると若干ですが上回っており、全国平均と比べると3割程度上回ることができました。国語科では漢字を読む、書くことや語彙の豊かさなどはよくできており、文章を書くこともできていましたが、説明文などの文章の内容を正しく読み取ることに課題が見られました。算数科では、10や100を単位量としてそれを○個集めるといくらになるとか、時計の読み取りで「○分前」「○分後」の正しい理解、式や言葉を使って自分の考えを説明すること、不等号の意味の正しい理解などに課題が見られました。まだ十分に定着ができていない状況が見られた結果につきましては、今後の課題と捉え、改善を図っていきたいと考えています。

○国語科における成果

- ・漢字を正しく書くこと。
- ・漢字を正しく読むこと
- ・読み取ったことや自分の考えを文章に表すこと

●国語科における課題

- ・説明文などの文章の内容を正しく読み取ること

○算数科における成果

- ・加減の計算や()を用いた計算が正しくできる
- ・乗法の式が正しく立式できる

●算数科における課題

- ・10や100を単位量としてそれを○個集めるといくらになる
- ・時計の読み取りで「○分前」「○分後」の正しい理解
- ・式や言葉を使って自分の考えを説明する

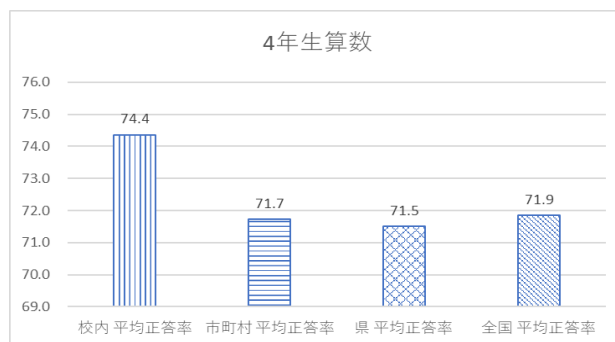
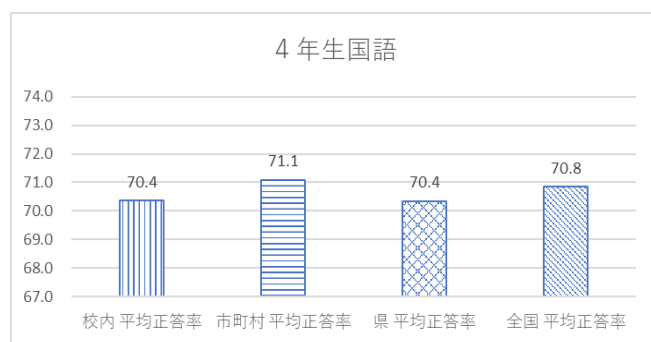
- ・不等号の意味の正しい理解

学校としましては、次のことに取り組んでいきます。

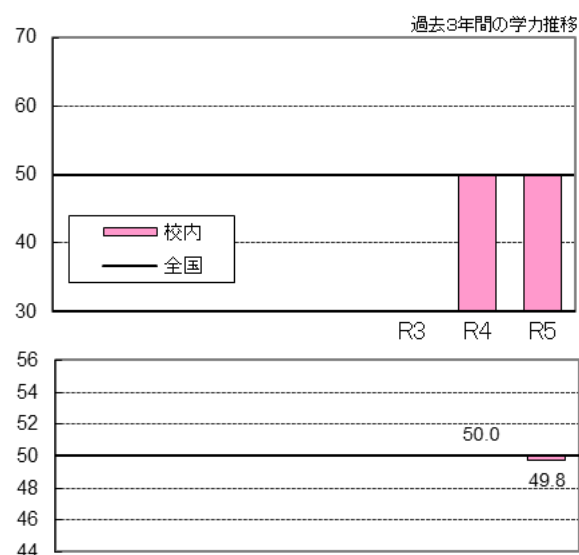
- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力（特に九九の確実な定着）を伸ばしていきます。
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、定期的に復習に取り組み、学習したことの定着が深まるように努めます。

4 年生

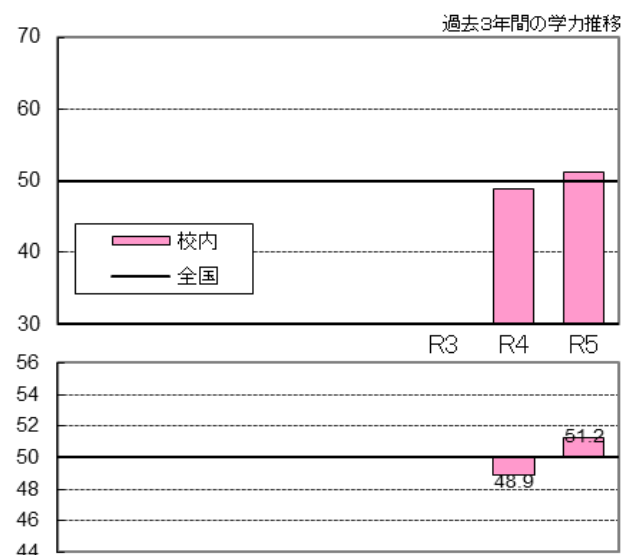
	校内 平均正答率	市町村 平均正答率	県 平均正答率	全国 平均正答率
国語	70.4	71.1	70.4	70.8
算数	74.4	71.7	71.5	71.9



同一集団の学力推移・標準スコア（国語）



同一集団の学力推移・標準スコア（算数）



国語科は岡山県の平均正答率とは同率でしたが、全国、倉敷市の平均正答率には 1 割未満ですが及びませんでした。算数科は逆に、全国、岡山県、倉敷市の平均正答率を大きく上回っています。また、3 年

生の時からの経年変化を見ると、標準スコアは、国語科は昨年とほぼ同じ、算数科は、昨年度は平均以下だったのが今年度は逆に上回りました。

国語科では、漢字の読み書きは標準以上にできていて、一まとまりの文章を書く意欲も見られました。しかし、ローマ字の正確な理解や問題文から適切な言葉を選び出す問題、「○字以内で」とか「実際に話すような言葉で」、「一つ目の段落では○○について、二つ目の段落では○○について」など条件が付けられている文章作成問題では正答率が伸びませんでした。

算数科では、「数と計算」領域で特に高い正答率となっていました。計算力が着実に身につけていると言えると思います。ただ、式や言葉を使って説明するような問題では、国語科と同様に問われていることに適切に答えられていないことが多く見られました。

○国語科における成果

- ・ 漢字を正しく書くこと。
- ・ 漢字を正しく読むこと
- ・ 一まとまりの文章を書こうとする意欲

●国語科における課題

- ・ ローマ字の正確な理解
- ・ 問題文から適切な言葉を選び出す
- ・ 課せられた条件に即して文章を書くこと

○算数科における成果

- ・ 加減乗除の計算
- ・ 乗法の式が正しく立式できる

●算数科における課題

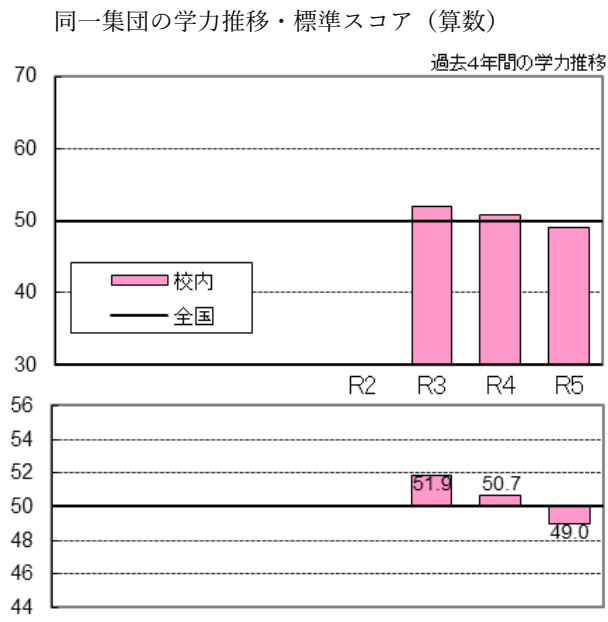
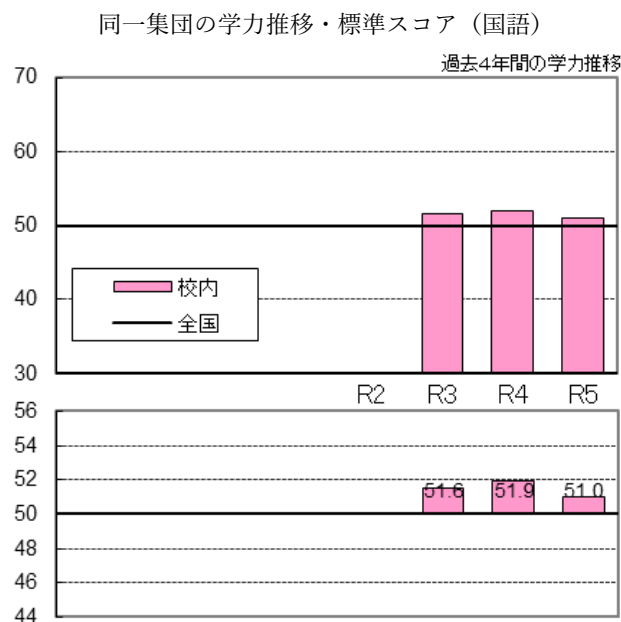
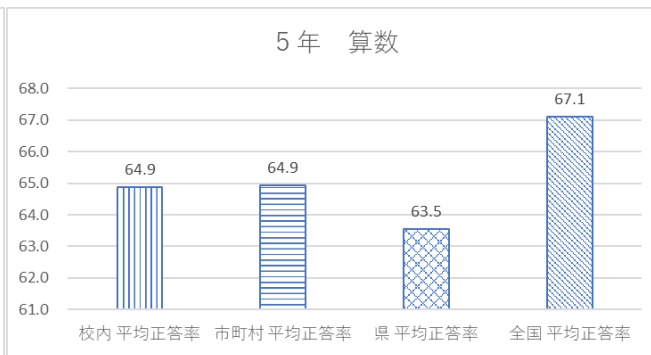
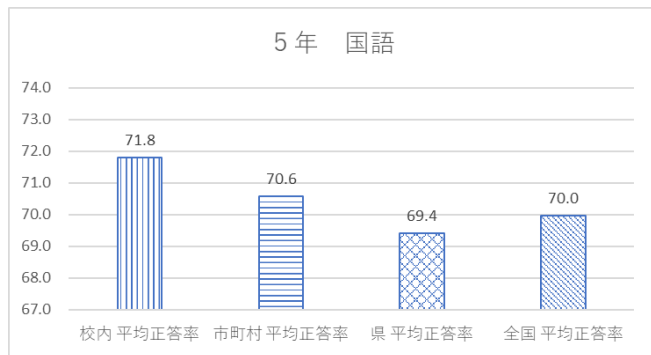
- ・ 式や言葉を使って、問題の解き方を説明する

学校としましては、次のことに取り組んでいきます。

- ① 宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力をさらに伸ばしていきます。そのうえで、条件をつけて文章を書く問題に取り組むことで、文章作成のスキルを向上させます。
- ② 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、根拠を明確にしながら説明したり、振り返りなど自分の言葉で記述していく機会をさらに充実させたりして、学習の成果が高まっていくように努めます。

5 年

	校内 平均正答率	市町村 平均正答率	県 平均正答率	全国 平均正答率
国語	71.8	70.6	69.4	70.0
算数	64.9	64.9	63.5	67.1



国語科では、全国、県、市の平均正答率を上回っています。算数科では倉敷市の平均と同率、県平均よりは上回っていましたが、全国の平均がかなり高く、本校を含めて岡山県全体ですこし差が付きまして。標準スコアで経年変化を見ると、国語科は3年連続で標準を上回り、算数科は昨年、今年と低下傾向が見られるため対策が必要と思われます。

国語科では、漢字を正しく読んだり書いたりすることや、書く内容の中心を考えて文章を書くこと、課された条件に即して文章を書くことなどがよくできていました。文章については書く機会をたくさん設けてきて書くことに抵抗感がなくなってきたことが伺えます。今回の結果では特に大きな課題はありませんでしたが、書かれた内容を適切に読み取る問題ではやや誤答が多く見られました。

算数科では、式や言葉で考えを説明する問題では正答率がかなり高い結果でした。国語で培った力が生きているようです。課題としては2次元の表の中から必要な情報だけを選び出す問題やおよその面積を

考える問題など、算数・数学的な考え方が求められる内容で誤答が多くありました。また、「以下、未満」の正しい認識や分度器を使った角の大きさの求め方などの基礎的な知識を用いる問題でも一定数の誤答がありました。

○国語科における成果

- ・漢字を正しく書くこと。
- ・漢字を正しく読むこと
- ・課された条件に即して文章を書くこと

●国語科における課題

- ・書かれた内容を適切に読み取る

○算数科における成果

- ・ 加減乗除の計算
- ・ 乗法の式が正しく立式できる

●算数科における課題

- ・算数・数学的な考え方が求められる内容（必要な情報だけを選び出す、日常にあるような情報からおよその量を推測する など）
- ・「以下、以上、未満」の状態を正しく認識する
- ・分度器を正しく使い角度を読む

学校としましては、次のことに取り組んでいきます。

- ①  宿題やチャレンジタイムで基本的な内容の反復練習や基本的内容を活用した応用問題を繰り返し行い、学習の基礎となる力をさらに伸ばしていきます。また、定められた時間の中で文の要旨や問題を解くのに必要な情報を読み取る練習を重ねていきます。
- ③ 平素の授業においては、引き続き学習のめあてや振り返りを授業の始めと終わりに位置付け、児童が学びの成果を実感できるようにします。また、日常の事象を、算数の問題の中に取り入れるようにして、学習と日常生活を結び付けていきます。

5年生では「学習状況調査」もありました。いくつか参考となる結果は次のとおりです。

肯定的な回答が県平均より 5 p 以上高かったもの						
3 (26)	英語の勉強は好きだ。					
5	1	2	3	4	無回答	
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答	
県	36.7	30.3	19.8	13.0	0.2	67.0
校内	63.8	22.3	10.8	2.3	0.8	86.1
						19.1

肯定的な回答が県平均とほぼ同じもの（+－5 割内）

代表的なもの

1	(1)	学校に行くのは楽しいと思う。					
1	1	2	3	4	無回答		
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答		
県	56.3	32.7	7.8	3.1	0.1		89
校内	48.5	36.2	11.5	3.8	0		84.7
							-4.3

1	(2)	自分には、よいところがあると思う。					
2	1	2	3	4	無回答		
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答		
県	39.7	41.7	11.9	6.6	0.1		81.4
校内	39.2	43.1	10.8	6.9	0		82.3
							0.9

肯定的な回答が県平均より 5 p 以上低かったもの

2	(14)	宿題以外の自主的な学習（学校の授業の予習や復習など）に、週に何回ぐらい取り組んでいますか。					
2	1	2	3	4	無回答		
	週に4回以上	週に2～3回	週に1回	全くしてない	無回答		週に2～3回以上
県	17.2	35.4	28.9	18.3	0.2		52.6
校内	6.9	33.8	41.5	17.7	0.0		40.7
							-11.9

2 (16)		学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)。							
4	1	2	3	4	5	6	無回答		
	3時間以上	2時間以上、3時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	30分以上、1時間より少ない	30分より少ない	全くしない	無回答		
県	7.9	13.6	34.8	30.0	9.3	4.3	0.1	1時間以上	30分未満・全くしない
校内	2.3	14.6	30.8	34.6	13.8	3.8	0.0		
								-8.6	4.0

3 (28)		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。					
1	1	2	3	4	無回答		
	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない	無回答		
県	26.9	43.2	22.8	7.0	0.1		70.1
校内	18.5	40.0	26.9	14.6	0.0		58.5
							-11.6

- ・英語の学習は、86%の児童が「好き」と答えています。
- ・学校に来ることが楽しい児童は県平均よりやや少ないですが約85%でした。
- ・自己肯定感が高く、約82%の児童が「自分にはよいところがある」と感じています。
- ・自主的な学習に週に2～3回以上取り組めている児童は約40%で県平均の約53%よりかなり低い状況でした。
- ・家庭学習を毎日1時間以上している児童の割合は約48%と半数以下でした。また、県平均の約56%からもかなり離れていました。家庭学習の内容ややり方の改善が必要です。
- ・約6割の児童が、学習した内容について分かった点や、分からなかった点を見直して次の学習につなげるという主体的な学習ができていますが、県平均は7割であるので、そのような姿が見られる児童をしっかり称揚したり紹介したりして、さらに増えるよう支援していきます。